

神経系モビライゼーション

～痛み・しびれ・可動域障害を治療する！ 病態に応じた積極的なアプローチ～



商品番号：ME163-S

全4巻32,000円+税/各巻8,000円+税(送料別)

■実技・解説：

齋藤 昭彦

杏林大学 保健学部
理学療法学科 教授／
障害科学博士／理学療法士



問題解決能力を身に付ける クリニカル・リーズニング！

神経系の機能は情報伝達であり、この機能が正常に働くためにいくつかのメカニズムが存在します。これらのメカニズムの障害は痛みやしびれ、可動域障害などを引き起こします。

**神経系モビライゼーションは、
このような神経系メカニズムの障害を対象として、機械的変化・生理学的変化をもたらすアプローチです。**

このDVDでは、まず神経系のメカニズムを詳細に解説し、神経系機能障害の病態について理解を深めます。

そして、神経系モビライゼーションを安全で効果的に行うためのポイント・注意点を解説しながら、各種検査・治療手技を実技でご紹介します。さらに臨床で起こり得る様々な問題に触れ、問題解決のためのプロセスを自分自身で考えながら学ぶことが出来る内容となっております。是非、日々の臨床にご活用ください。

ME163-
1巻目
53min

神経系のメカニズムと 主な神経の触診

関節運動における滑走と緊張(SLR)

- ・0°～35°で坐骨神経の緩みがなくなる
- ・35°以降に滑走がみられ70°～90°で終わる。
- ・約60°以上から緊張が増加する

(Charnley, 1951, Smith, 1956)

ポイント

関節可動域の最初で神経の緩みがなくなり、中間域で神経の滑走が起こり、最終域に向かうにしたがって滑走が減少し、緊張が高まる。



ME163-
2巻目
63min

ニューロダイナミックテストⅠ (胸腰部～下肢)



Prone Knee Bend (PKB)
検査の実際

ME163-
3巻目
59min

ニューロダイナミックテストⅡ (上肢)



ME163-
4巻目
76min

神経系機能障害の治療



ジャパンライム ME163 検索 商品詳細裏面へ⇒

お申し込み方法

- ご希望の商品番号を指定し、電話かハガキ、FAX、もしくはDVD通販サイト(www.japanlime.co.jp/)にてお申込みください。受注確認後3～6営業日後でお届けします。
- 送料は1回につき741円+税。

ハガキ
見本

商品番号●●

お名前(フリガナ)

ご住所／TEL

(勤務先 or 自宅)

お支払方法

納品希望曜日

お支払い方法

- 到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。
- カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割も可)。

©映像コンテンツサービスの企画・制作・販売

JLC ジャパンライム株式会社

TEL.03(5840)9980

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 本郷竹下ビル4F

FAX.03(3818)6656

2015.2 | ME163

ME163-
1
53min

神経系のメカニズムと 主な神経の触診



神経の構造・メカニズム、神経系機能障害の病態、神経系モビライゼーションについて概説。検査や治療を行うために必要な基礎知識を学びます。さらに神経系の検査として末梢神経の触診を解説。

神経モビライゼーションの概要

- 神経を動かすことによる効果
- 神経モビライゼーションで注目する3つの要素
- 神経モビライゼーションの対象となる機能

神経系のメカニズム

- 神経モビライゼーションの対象となる組織
- 神経の解剖
- 神経結合組織の神経支配
- 2つのレベルの滑走
- 滑走方法
- 関節運動における滑走と緊張
- 脊柱と神経系
- ストレッチングとモビライゼーション
- オープニングとクローズング

神経系機能障害の原因

- 伸張が神経内血流に及ぼす影響
- 圧迫が神経内血流に及ぼす影響
- 機械的ストレスに対する閾値の低下

神経系に対する検査

- 検査の概要
- 末梢神経の触診
- 触診を進める上での注意
- 触診の実際
- 上肢神経の触診
- 下肢神経の触診

ME163-
3
59min

ニューロダイナミックテストⅡ (上肢)



Upper Limb Neurodynamic Testの概要と検査の実際を解説します。さらに、ニューロダイナミックテストの検査レベルや注意点、その解釈について学びます。

Upper Limb Neurodynamic Test 1 (ULNT1)

- 概要
- 検査の実際

Upper Limb Neurodynamic Test 2a (ULNT2a)

- 概要
- 検査の実際

Upper Limb Neurodynamic Test 2b (ULNT2b)

- 概要
- 検査の実際
- クリニカル・リーズニング

Upper Limb Neurodynamic Test 3 (ULNT3)

- 概要
- 検査の実際

臨床で用いる際の注意

検査レベル

- どの程度の検査を行うべきか?
- クリニカル・リーズニング

Neurodynamic testの解釈

- 顕在性反応と潜在性異常反応
- クリニカル・リーズニング

Neurodynamic testのポイント

- Sensitivity
- どんな場合に陽性と考えるか?
- テストの陽性とマネージメント

ME163-
2
63min

ニューロダイナミックテストⅠ (胸腰部～下肢)

胸腰部から下肢までの主なニューロダイナミックテストの概要と検査の実際を解説します。基本的な検査方法のほかにバリエーションも紹介。病態に応じたアプローチを学びます。



ニューロダイナミックテスト - Neurodynamic test -

- ニューロダイナミックテストとは
- 主なニューロダイナミックテスト
- ニューロダイナミックに必要な情報
- 検査に対する反応の分類

Passive Neck Flexion (PNF)

- 概要
- 検査の実際

Straight Leg Raise (SLR)

- 概要
- 検査の実際
- SLRによって影響を受ける組織
- クリニカル・リーズニング

SLRのバリエーション

- 種類
- 組織鑑別の概念
- 鑑別診断の実際
- クリニカル・リーズニング

Prone Knee Bend (PKB)

- 概要
- 検査の実際
- クリニカル・リーズニング
- PKB+PNF
- 応用(アスリート)

Slump Test

- 概要
- 検査の実際
- クリニカル・リーズニング
- バリエーション

ME163-
4
76min

神経系機能障害の治療

神経周囲に問題がある場合、神経自体に問題がある場合、それぞれに対する主な治療テクニックを紹介。治療を安全で効果的に行うために、神経を動かすときの注意点や治療選択などについて解説しています。



神経系機能障害の分類

- 2つの分類
- 神経周囲に問題がある場合
- 神経に問題がある場合

メカニカルインターフェースに対する治療

- 概要
- 静的オープナー
- 動的オープナーとクローザー

神経要素に対する治療

- 概要
- 一端スライダーと一端テンショナー
- 二端スライダーと二端テンショナー
- 遠位スライダー
- 近位スライダー
- 直接的モビライゼーション
- クリニカル・リーズニング

治療の注意点

- 痛みとこわばり
- 関節を動かしたときの抵抗・痛みの変化
- 病態と治療目的
- 治療選択
- クリニカル・リーズニング

まとめ

安全で効果的な
治療を行うために!
神経系機能障害の病態と
検査・治療の実際!

上肢から下肢まで
全身の神経系
機能障害に対応!